

[ライブ・サーティー]

Live30

<https://www.omichikai.or.jp>

VOL.

231

2019年
春号



CLOSE UP

平成31年度 新人教育集合研修を開催しました

OMICHI ACADEMY

第35回 日本障害者歯科学会総会および学術大会

回復期リハビリテーション病棟協会 第33回 研究大会 in 舞浜・千葉

第29回 平成30年度病院管理実務・実践講座

OMICHI SCRAMBLE

ヘルシーライフフェスタ&スマートエイジング・シティ具体化手法セミナー

淀川キリスト教病院

INFORMATION

大道会在宅事業部 事業所移転のご案内

森之宮病院 地域包括ケア病棟開設に向けた取り組み



最優秀賞
「Live30」
雑誌「Live30」は、日本医療界において
最も優秀な医療情報誌として
選ばれています。
日本医療界
日本医療界

平成31年4月に大道会へ入職した新人職員を対象に「新人教育集合研修」を開催。
研修の目的やプログラム内容をご紹介します。

平成31年度 新人教育集合研修を開催しました



3月26日～29日の4日間、平成31年度の新人教育集合研修を開催しました。本研修は、新入職員がスムーズに現場で業務に取り組めるよう30年以上前から毎年実施しており、大道会職員として働くうえで必要な知識、スキル、考え方等幅広い分野の内容を学びます。

今回の特集では、「経営層から新入職員へのメッセージ」、「新生ボバース記念病院が目指すもの」、「大道会在宅事業部の現状と将来展望」、「地域包括ケアとは」、「大道会の地域支援事業」、「グローバルワーク」の5つのプログラムに注目します。

経営層から新入職員へのメッセージ

研修は、大道理事長の講義からスタートし、「経営トップから新人に望むこと」をテーマに、多職種連携・医療連携を実現するうえでは「役割・機能分担」と「情報共有」が必須であることを学びました。そして、知識と技術の習得に努めるとともに、患者さんと、患者さんを取り巻く環境を理解すること等、医療人としての心構えを教わりました。

宮井副理事長の講義からは、当法人の再編が行われた背景や森之宮病院の機能、強みであるリハビリテーション医療等について知ることができました。天野常務理事の講義では、専門分野を持ちながらもグローバルな視点を備えた「T字型人材」が求められていること、また、社会医療法人制度の概要で

は、社会医療法人が果たすべき役割を知り、大道会の一員として自覚を持つことができました。

新生ボバース記念病院が 目指すもの

ボバース記念病院の荒井院長の講義では、ボバース記念病院の歴史や脳性まひセンターに機能転換し改装された院内の特徴等が紹介されました。また、脳性まひの定義や病態の多様性の他に、日本の脳性まひ治療の特徴である「療育(医療+教育)」を学び、多職種連携によるチーム医療で最大限の能力を引き出し、患者さんの年齢に応じた包括的なサポートが求められていることを知ることができました。勇気を持ってチャレンジし続けることを心がけ、医療従事者として必要な知識・技術・心を磨いていってほしいです。

大道会在宅事業部の 現状と将来展望

在宅事業部の安井統括管理者の講義では、今年4月から始動した「健康ステーション」「まなぶ」の紹介がありました。訪問看護ステーション、ケアプラセンター、福祉用具レンタル等の介護保険事業を基盤として、小児から高齢者まで地域の方々の健康や介護を、分野や疾患にとらわれず最後まで総合的にサポートする体制に、新入職員は興味深く耳を傾けていました。また、人

生最後の時間を住み慣れた自宅で過ごしたいというQOD(クオリティ・オブ・デス)を学び、終末期医療やターミナルケアがどのような方向に進んでいくのか、今後の動向に引き続き注視していく必要があると感じました。

地域包括ケアとは ― 大道会の支援事業 ―

大道会では医療・介護・住まいの様々な要因・課題を抱えながら暮らしている方々を支援する体制づくりに取り組んでいます。その取り組みの一つである森之宮病院の地域包括ケア病棟(2019年7月開設予定)は、困っている方に対して、多職種チームで在宅復帰、社会参加を支援する病棟であると感じました。私達が働く地域の特徴や暮らしを知ることが、地域活動の第一歩です。自分達に何ができるのか、与えられた役割は何なのかを改めて考える良い機会となりました。



4月から新たに始まる『健康ステーション「まなぶ」』についての理解を深めました

グループワーク

医療従事者として働いていく中で、医療組織では治療だけでなく、患者さんや利用者の方が心地よく過ごせる環境づくりとホスピタリティが求められていることを忘れてはならないと認識しました。グループワークを通して、ヒューマンスキル(対人能力)を育むコミュニケーションの基礎を学びました。各グループで「Look, Smile, Talk」を意識しながら互いに会話をするゲームを行い、全てを同時に意識して話す難しさを体験するとともに、相手に好感を与えられる大切な要素であると理解しました。

新人研修を実施して

この研修は、当法人の概要や基本的なビジネスマナーだけでなく、求められている役割を把握し、自分達ができることを増やし、目標に向かって前向きに取り組んでほしいという思いも込めて実施しています。多職種連携を促進させるためには「役割分担」「情報共有」が必要不可欠です。本研修で学んだことを生かして69名の新人職員がそれぞれの現場で活躍してくれることを期待しています。

平成31年度新人教育集合研修プログラム

	3月26日(火)	3月27日(水)	3月28日(木)	3月29日(金)
研修内容・講師	入職式 人事課オリエンテーション (新人研修を受講するにあたって) 大道理事長 「経営トップから新人に望むこと」 天野常務理事 「新人に望む10のポイント 社会医療法人の使命と役割」 ボバース記念病院 荒井院長 「新生ボバース記念病院が目指すもの」 本部管理部門人事課 上野課長 「個人情報保護、就業規則、ハラスメント、人権、社会保険について」 帝国ホテルクリニック 沖永医長 「メンタルヘルスケアについて」	森之宮病院歯科診療部 旭部長 「両病院歯科の特長・強み」 森之宮病院 リハビリテーション部 神尾主任 森之宮病院 医療社会事業課 佐藤主任 森之宮病院看護部 正壽副部長 本部管理部門人事課 下里課長 トレーナー講義① 「コミュニケーションの大切さとポイント」 森之宮病院 リハビリテーション部 稲葉科長 森之宮病院看護部 松岡科長 トレーナー講義② 「コミュニケーションの基礎」	宮井副理事長 「森之宮病院が目指すもの」 森之宮クリニック企画広報部 医療コンシェルジュ 荒木課長 「接遇講習～患者と顧客対応の実践～」-社会人の基本- 在宅事業部 安井統括 「大道会在宅事業部の現状と将来展望」 グリーンライフ 濱田施設長 「介護老人保健施設グリーンライフについて」 城東警察署 及び 府警本部 「防犯について」 本部渉外担当 峰部長・三登課長 「医療機関における防犯・防災について」	本部管理部 井山管理部長 「大道会未来創造プロジェクトの取組み」 森之宮クリニック 上田部長 「PETとは -我が国初の官民協調事業-」 森之宮病院看護部 感染管理認定看護師 吉田科長 「院内感染について」 -ヘルスケア分野職員の心構え- 森之宮病院診療部医療安全 津吹副部長 「医療安全について」 医療社会事業課 藤井副部長(MSW) 「地域包括ケアとは -大道会の地域支援事業-」 大道クリニック 片山事務長 「人工透析・睡眠時無呼吸症候群について」 森之宮病院事務部 水谷課長 「診療報酬・保険のしくみ～あなたが受診するときのために～」 互助会 杉邑会長(H30年度会長) 「互助会活動について」 各施設に所属

(所属役職等は研修開催当時)

発表報告

第35回 日本障害者歯科 学会総会および学術大会



ボバース記念病院
歯科診療部医長
青野 陽

Sotos症候群を有する患者 の歯科治療経験を発表

日程：平成30年11月17日・18日
場所：中野サンプラザ

日本障害者歯科学会総会および学術大会は、障害者歯科に携わっている歯科医師や歯科衛生士、その他の医療関係者等が集まり、日頃の研究や臨床、診療に関する事を発表し討論を行っています。今回の大会は「住み慣れた街から広げよう支援の輪」多職種連携における障害者歯科の役割」の学会テーマのもと、様々な講演やシンポジウム、発表が行われました。

今回、私は「Sotos症候群を有する患者の歯科治療経験」という演題名で、全身麻酔下で行った歯科治療の内容等に関して発表しました。Sotos症候群は遺伝子異常によって、特異的な顔貌や口腔内所見、骨年齢促進、先天性心疾患、脊柱側彎症、精神発達遅滞等を有する疾患で、歯科治療を行う際には様々な注意が必要です。この患者さんの治療に関して一番問題となったのは、精神発達遅滞によって歯科治療への協力が得られない事でした。そのため、

め、全身麻酔下で全ての歯科治療を行いました。今後は、再発が起らないように定期的な管理が必要となります。今回の発表に関して他施設の歯科医師等からも様々なご意見を頂くことができ、今後の臨床に生かしてきたいと思っています。

ボバース記念病院の障害者歯科を受診される患者さんは、知的障害等のため一般歯科医院での対応が困難で、治療目的に紹介来院される方もいらっしゃると思います。障害者歯科治療では、患者さんの障がいだけでなく、全身疾患や社会背景に関する理解も必要であり、そのことも考慮した治療計画の立案が必要です。今後も学会活動等を通して、他施設の歯科医師や歯科衛生士、医療関係者との交流を深め、当院における障害者歯科医療の発展に尽力していきたいと思っています。

発表報告



森之宮病院
リハビリテーション部
理学療法科
武田 悦太郎

回復期リハビリテーション 病棟協会 第33回 研究大会 in 舞浜・千葉

早期からの移乗動作指導と移乗 FIM利得の関係性について発表

日程：平成31年2月21日・22日
場所：東京ディズニーシー・
ホテルミラコスタ他

今回、私は本研究大会に参加し、

ポスター発表の「ADL・iADL」の枠で「早期からの移乗動作指導と移乗FIM利得の関係性」について発表しました。

私が所属する森之宮病院4階東病棟では生活場面で移乗動作の介助量が多い患者さんに対して、リハビリ時間以外に、担当セラピストだけではなく専任セラピストも参加して、看護師・介護士が病棟生活場面で実践しやすい方法を検討しています（「ADLカンファレンス」）。本研究では、入院からADLカンファレンス実施までの期間と移乗FIM利得との間に相関があるのかを検証した結果、入院時から動作指導を行うまでの期間と移乗FIM利得では相関関係がみられました。ADLカンファレンスを入院20日より早く行うと、移乗FIM利得が2点以上、60日より早いと1点以上あがるという結果になりました。移乗方法を早期から多職種で検討・共有し、統一することで、患者さんの能力を最大限引き出せる可能性が示唆されました。フロアからは多職種で共有する時間の設定や、看護師・介護士への介助指導に関して意見交換し、有意義な時間となりました。

今後この活動を継続・発展させ、チームアプローチとして質の高いサービスを提供できるように取り組んでいきたいと思っています。

参加報告

第29回 平成30年度 病院管理実務・実践講座



グリーンライフ
事務サービス部事務長
奥田 寛之

「育ってほしい」という願いが 強く込められた実践講座

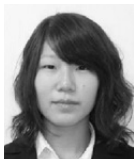
日程：平成30年6月14日
平成30年11月8日 計6回
場所：大阪府病院年金会館

今回、病院管理実務・実践講座を月に1度、6カ月間全ての日程について受講しました。毎年どれか1つの講座には参加していましたが、6回通して受講したのは初めてです。

この実践講座は、今後病院や介護保険事業所を管理していく人材の育成が大きな目的です。よって、講座のテーマもコスト管理・品質管理・地域連携・人材育成等、幅広く多岐にわたっています。1日7時間程度の研修で、テーマごとに2つの講座があり、最後はその日学んだことを10名程度でグループワークを行う流れでした。



参加報告



森之宮病院看護部
6階東病棟主任
平岡 唯

大阪府保健師助産師看護 師実習指導者講習会

講座では、テーマを代表する講師にお越し頂き、貴重なお話や実践方法について学ぶことができました。グリーンライフの事務長として、伸ばせている部分と苦手なままの部分のはっきりしました。また、それぞれのテーマについて、毎回1時間じっくりと他病院や介護保険事業所の管理職の方々とグループワークができたことは、大きな財産になりました。どの病院や介護保険事業所でもコスト管理や人材育成について、同じ悩みや課題に苦しんでいました。しかし、それぞれに、何とか課題を解決させようと努めている状況を共有することもできました。愚痴をこぼし合うのではなく、解決の糸口を何とか見つけようとするグループワークになりました。

教育は、学習者が成長できる環境づくりが大切だと学んだ
日程：平成30年9月10日～11月12日
場所：中野ナースिंगアート大阪
この講習では、様々な領域で働く看護師が、学生の実習指導という1つのテーマに沿って約2カ月間学びます。

6回の講座はテーマこそ毎回違いますが、前後の講座について予習・復習ができる内容になっていることが多く、主催者側の受講者に対する「育ってほしい」という願いが強く込められている場だと感じました。今回学んだことを、しっかりと業務に浸透させていきたいと思っています。

本講習では、教育とは、学習者が成長するためのきっかけを与えることにすぎないと学びました。指導者が自分の教育観や看護観の枠にはめようと、学生自らが成長しようとしている枝を切り落としていくことは、指導ではなく盆栽づくりであると学びました。「教育はまず、盆栽づくりから卒業すること。そして、教育者は、学習者がのびのびと成長できる環境を整えることが大切である」と学ぶことができました。

さらに、講習を通して知識を学ぶだけでなく、他施設や他領域の看護師と交流の場を持つことができ、お



森之宮クリニック
診療技術部看護師
吉田 香愛

第58回日本核医学会学術 総会・第38回日本核医学 技術学会総会学術大会

参加報告



森之宮クリニック
診療技術部看護師
吉田 香愛

核医学の知識をより高め、学びを深めていく必要があると感じた

日程：平成30年11月15日～17日
場所：沖縄コンベンションセンター

第58回日本核医学会学術総会及び第38回日本核医学技術学会総会学術大会に参加し、核医学看護について学んできました。

「核医学看護に活かす技術私たちが看護師にできること」というテーマで行われたパネルディスカッションで印象に残ったのは、「精度が落ちないようにベストな状態で正しく検査を受けてもらうこと」でした。そ

互いの看護観や教育観に触れ、同じ悩みを抱えながら励まし合える仲間に出会えたことや、演習をすることで学生の時の気持ちを思い出す機会になったことは、大きな収穫になりました。

を流し交わしたとき、この経験が、今後の人材育成に役立てていきたいと思っています。

のためには、検査前処置や検査説明の理解が大切になります。例えば絶食説明の際、何時間前からというのを起床時から食べないという言い方に変更する等、言葉ひとつで理解の深まりが変わることを学びました。

日中核医学交流会での日本からの演題は「核医学看護師の現状と課題」でした。以前は核医学診療を行っている施設はわずかで、従事している看護師も少なかったですが、2002年FDG・PETが保険適用となり検査施設が増加、看護師配置の必要性が上がり核医学診療に従事する看護師が急増しました。看護師は患者の不安に適切に対応すること・良質な診療結果のための適切な前処置・核医学診療を円滑に進めていくキーパーソンとして今後益々の活躍が期待されています。2019年度の看護学生から基礎教育課程において核医学看護の教育が開始されます。今後の課題として、現在従事している看護師の知識の底上げと、より質の高い安全で効果的な看護ケアの実践が必要となります。

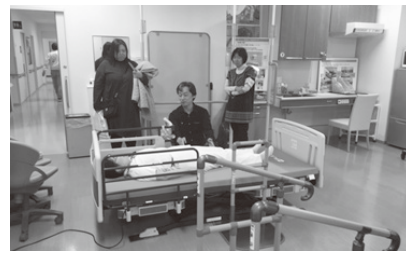
私自身、森之宮クリニックで働くまでは核医学看護について学ぶ機会も少なく、よく分かっていない状態からのスタートでした。今後は基礎教育課程で適切な教育を受けた看護師と共に働くことになるので、さらに知識を高め、学びを深めていく必要があると感じました。

森之宮病院

ヘルシーライフフェスタ& スマートエイジング・シティ具体化手法セミナー 淀川キリスト教病院

平成30年11月23日に大阪府主催の表記イベントが淀川キリスト教病院で開催されました。河内長野・東淀川・森之宮の3地域で先行実施された取り組みは、府下各地域(泉北・池田ほか)にも拡充しています。当日は、各地域の取り組みが淀川キリスト教病院に集結し、実体験できるイベントとなりました。当院は、森之宮第2団地で提供している福祉用具体験モデルルームをリハビリADL室に移設した「出張モデルルーム」を提供しています。

患者さんやご家族、関係機関の方々40名ほどが出張モデルルームを訪れ、福祉用具を体験されました。リクライニング車イスや手すりへの関心が高く、こんなに便利だと思わなかったというお声をたくさん頂きました。これからも皆さんの暮らしに役立つ情報提供や支援を提供し続けたいと思います。
(森之宮病院診療部医療社会事業課副部長 藤井由記代)



安井統括管理者による介護ベッド体験案内

法人全体

入職医師のご紹介

森之宮病院、ボバース記念病院に医師が1名ずつ、新たに4月より着任しました。森之宮病院の神経内科に恵比須梨華医師、ボバース記念病院の小児神経科に西本静香医師が加わり体制が

強化されました。今後とも、患者さんに寄り添った医療提供を心がけて参ります。受診をご希望の際は、森之宮病院またはボバース記念病院にお気軽にご相談下さい。



ボバース記念病院
小児神経科
西本 静香 医師



森之宮病院
神経内科
恵比須 梨華 医師

森之宮病院

第12回 森之宮病院 登録医総会

3月9日、第12回森之宮病院登録医総会を帝国ホテル大阪にて開催し、登録医の先生方、当法人医師、職員、約90名にご参加頂きました。

まず大道理理事長が、「地域包括ケアシステム」について、登録医の先生方との協力体制がないと成り立たないこととあり、病院やクリニック、介護事業者、そして住民や行政も巻き込んだシステムを作ろうと考えてから10年、機が熟してやつと動き出したとご挨拶しました。

講演は、「登録医の先生方と一緒に大道会流地域包括ケアシステムを構築します」というテーマで、在宅事業部安井統括が「健康ステーション『まなぶ』について」、森之宮病院リハビリテーション部椎名部長が「生活期リハビリテーションについて」、医療相談室藤井副部長が「地域包括ケア病棟について」説明しました。いずれも患者さんが地域で生活を継続するために、登録医の先生方にご活用頂きたい取り組みで、先生方から活発にご質問頂きました。その後、懇親会では東成区医師会長・長田先生にご挨拶頂き、参加者は和気あいあいと情報交換をされていました。



今後も登録医の先生方と緊密な連携のもとより良い医療を提供してまいります

今後も患者さんが健康に地域で暮らしているよう、登録医の先生方と連携し、頼れる医療、寄り添う介護を実践し、地域医療に貢献していきたいと思っています。
(森之宮病院診療部地域医療連携室課長 杉浦美保)



頑張っている職員をご紹介します #59

森之宮病院診療技術部薬剤科 小西 智洋 さん

眼鏡をかけて気合いを入れ、
今日もパソコンの前で奮闘中！

森之宮病院診療技術部薬剤科の小西智洋さんをご紹介します。

小西さんは、入職6年目の薬剤師で、森之宮病院薬剤科の中で唯一の男性スタッフです。現在、2病棟(5西病棟と6東病棟)の病棟業務を担当しており、入院患者さんへの服薬指導や薬剤管理業務等を行っています。病棟業務の兼務は、担当する患者さんが多いため情報収集・状況把握が大変なのですが、持ち前のコミュニケーション能力を生かして、医師や看護師らと協力しながら薬の専門家として奮闘しています。

薬剤科では現在、業務効率化に向けた業務改善を推進中であり、小西さんは医薬品マスタ担当として、新規採用医薬品等のマスタ情報を一元管理できるよう、エクセルを駆使してフォーマットを作成してくれました。パソコンが不得意なスタッフが多い中、パソコンに詳しい彼はとても有り難い存在です。

今年4月からは森之宮クリニックへの業務応援も担当しており、ますます多忙になりますが、様々な業務を通して多くの経験を積むことで、さらなる成長を期待しています。

(森之宮病院診療技術部薬剤科主任 鈴木美絵子)



森之宮病院 登録医 紹介

29



いわさきクリニック 岩崎 弘登 医師

東大阪市森河内東1-28-14
06-6782-3132
内科、循環器内科、血管外科、
外科、整形外科、皮膚科、
リハビリテーション科

岩崎院長は平成11年3月に川崎医科大学をご卒業後、岡山大学医学部附属病院、広島市民病院、大阪市立大学医学部附属病院等で勤務されました。理化学研究所神戸キャンパスで心血管再生医療の研究活動にも携わり、その成果はアメリカ心臓病学会(AHA,ACC)より表彰され、国際的に高く評価されています。

平成24年に、いわさきクリニックを開院されました。診療で大切にしていることをお伺いしたところ、「しっかりと相手の話を聞くことを大切にしています。良くなったよ、ありがとうと言われると嬉しいです」と話されました。また、「若手の時に師事した先生がオールマイティーに対応できる方で、目標にしていました。もっと色々な疾患を診られるようになりたい、クリニックとしては認知症を診たり、耳鼻科にも対応できたりする体制を作り、地域の方の健康に貢献していきたいですね」と、熱い想いを語られました。

専門は心臓血管外科で、下肢静脈瘤外来では日帰り手術も行っていますが、診療科にとらわれず幅広い視点で診療をされています。日常疾患を診る内科、循環器科内科、外科をはじめ、在宅診療やリハビリテーション、フットケア外来にも力を入れています。お休みの日はお子さんとキャッチボールやサッカーをして、リフレッシュされています。

最後に、森之宮病院へ一言。「今後も連携を強めていきたいです。救急対応の際はよろしくお願いします」

(森之宮病院診療部地域医療連携室 戸田梨香子)

■ 大道会在宅事業部 事業所移転のご案内

大道会在宅事業部は、介護保険を利用する際に必要なケアプランの作成を行う居宅介護支援事業、看護師がご自宅に伺い、必要な処置を行う訪問看護事業、福祉用具の貸与・販売を行う福祉用具貸与・販売事業の3事業を行っています。介護保険制度は制度施行以来、普及が進み、多くの方が安心できる在宅での療養を望んでおられます。大道会在宅事業部は、その望みに応えるべく4月に森之宮第2団地へ移転し、職員の充実と機能強化を図ってまいります。

これまでの組織理念「最後まで暮らしの価値を高める」を受け継ぎつつ、より一層、地域の方々、医療・介護ご関係者様の身近に居続けまので、今後ともよろしくお願いいたします。

なお、訪問看護ステーション東成おおみちは引き続き、東成区東中本を拠点としています。

(在宅事業部主任 新谷佳久)



3事業所合わせて、『健康ステーション「まなぶ」』が誕生しました！ 特設ウェブサイトのアクセスはこちら！



新住所：大阪市城東区森之宮二丁目森之宮第二団地6号棟102号室
移転事業所：ケアプランセンターおおみち、訪問看護ステーションおおみち、レンタルケアおおみち

■ 森之宮病院 地域包括ケア病棟開設に向けた取り組み

森之宮病院では、7月より地域包括ケア病棟(3階病棟45床)を開設します。当院はこれまでに、開放型病院や在宅療養後方支援をはじめとした登録医との連携や、こもればカフェの開催等による医療・介護・福祉関係職との交流を深めてまいりました。今回、地域包括ケア病棟の開設を契機とし、森之宮地区における地域包括ケアシステムのさらなる推進を予定しています。

開設準備にあたっては、医師をはじめ院内多職種でチームを組み、日々検討を重ねています。地域の皆さんのお役に立てるよう取り組んでまいりますので、ご意見ご要望などをお寄せ頂ければ幸いです。

(森之宮病院事務部庶務課主任 宮城誠)



病棟開設に向け、様々な職種が集まってワーキングを行いました

■ ご寄付・ご寄贈を頂きました

三浦進様(大阪市東成区)、上田良子様(守口市)、國友いし様(大阪市東住吉区)よりご寄付・ご寄贈を頂きました。ありがとうございます。有意義に活用させていただきます。

■ 編集後記

年号が「令和」に変わります。団塊ジュニア世代と呼ばれる私の世代は、平成の時代に人生の青・壮年期を過ごしました。人生後半を迎える令和の時代も、平和で豊かであり続けてほしいと思います。

(在宅事業部主任 新谷佳久)

Live30【ライブ・サーター】
2019年春
vol.231

編集発行人／社会医療法人大道会
〒536-0023 大阪市城東区東中浜1-5-1
TEL.06(6962)9621
FAX.06(6963)2233

● 本法人の経営理念

1. 社会から信頼される病院・施設づくり
2. 安定した経営基盤の確立
3. 職員の福祉向上と人材育成

● 職員行動モットー

親切丁寧に(受診者・お客様・ご利用者)
待たさない／よく説明する／連携する

■ 社会医療法人大道会

社会医療法人大道会本部

☎06(6962)9621

森之宮病院

☎06(6969)0111

ボバース記念病院

☎06(6962)3131

森之宮クリニック(PET 画像診断センター)

☎06(6981)9600

帝国ホテルクリニック(人間ドック)

☎06(6881)4000

大道クリニック(人工透析)

☎06(6961)5151

介護老人保健施設グリーンライフ

☎06(6965)0666

訪問看護ステーションおおみち

☎06(6967)1123

訪問看護ステーション東成おおみち

☎06(6977)8680

ケアプランセンターおおみち

☎06(6964)5285

レンタルケアおおみち

☎06(6967)6250

■ 社会福祉法人山手学園

特別養護老人ホームサンローズオオサカ

☎06(6974)7388

東成山手学園(保育園)

☎06(6974)7377